

(第6回)

技術ベンチャー叢成ワークショップ

大学発ベンチャーを輩出する風土づくり

□ 第6回目のプレゼンターからの問題提起

大学発ベンチャーを創出する風土

起業支援の大学同窓会活動と大学でのアントレプレナー教育を実践してきた立場から、大学発ベンチャーを輩出する風土について考える

宮地 恵美 氏 (株) MMインキュベーションパートナーズ代表取締役

- 日時: 2016年7月22日(金) 18:30~20:30 (講演60分、意見交換60分)
- 場所: 東京理科大学(神楽坂キャンパス)理窓会館第1会議室
(〒162-0825 新宿区神楽坂2-6-1 PORTA神楽坂6階 アクセス 裏面参照)
- 参加費: 会員1,000円、非会員2,000円
- 定員: 最大35名(定員になり次第締め切ります)
- 申込方法: FAX(03)6276-2424) またはEメール(office@jpmot.org)にて、氏名、所属、住所、電話番号、Eメールを明記して、お申し込み下さい。

主催者日本開発工学会からのメッセージ

本会は「ビジネスの創造に関するすべての事柄を研究しようとする学会です」。余田幸雄会員の働きかけにより、「日本では新しい技術指向のベンチャー企業がなぜ成長しない」との課題に、1年近くの準備会合での意見交換を経て、ワークショップという形式で取り組むこと致しました。

ワークショップは、問題意識を会員以外にも共有して頂けるような、多様な方々からの報告を何うオープンなものとし、課題の整理を行い提言に繋げる活動を目的とすることと致しました。

ワークショップ事務局責任者 大橋克巳

コーディネーターからのメッセージ

1970年頃の第一次ベンチャーブーム以来、イノベーションの担い手としてのベンチャー企業は市民権を得るに至っていますが、技術開発指向型ベンチャー、とりわけ実験レベルから実用化まで装置(機器)等を介して先端技術を実用化し事業を成功させようとするベンチャー企業にとってはこの50年間厳しい環境に変化はないと言って過言ではないと思います。我が国でベンチャー企業が活動するにあたり、何が不足しているのか、何が理由で育たないのか、何故成功しないのか。これらの問題を、本ワークショップでベンチャー支援を行ってきた多くのかつ多様な実務家との意見交換を通して浮かび上がらせ、最終的に何らかの形で政策・プラクティスの提言に繋げていきたいと考えております。

コーディネーター 余田幸雄

技術ベンチャー叢成ワークショップ (第 6 回)

一般社団法人日本開発工学会

●日時：2016年7月22日 金曜日
18：30～20：30

●略歴

プレゼンター 宮地 恵美 氏

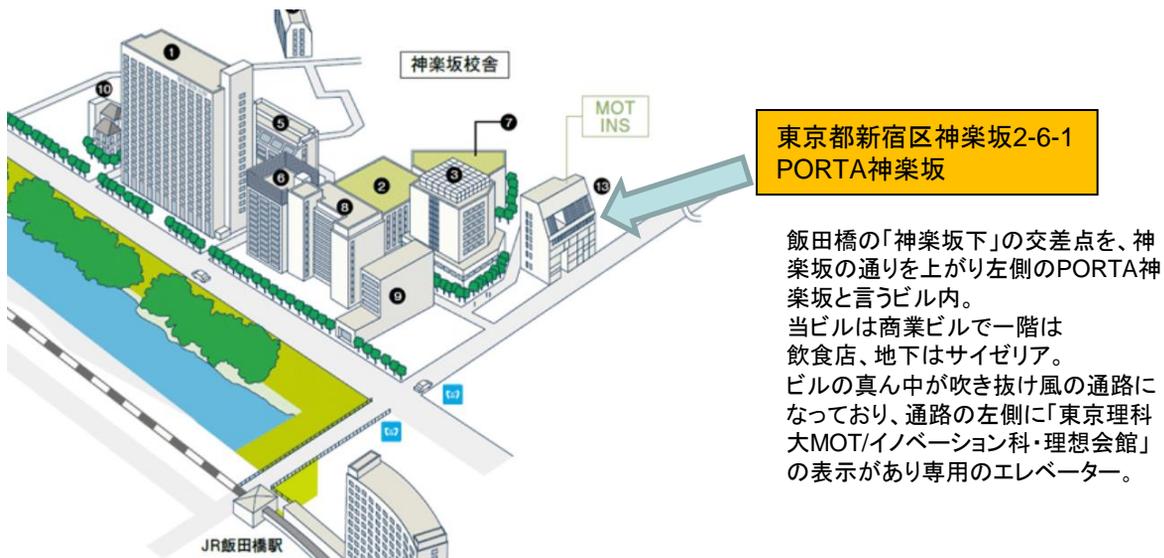
1982年慶應義塾大学工学研究科卒、同年日本ユニバック(株)、現日本ユニシス(株)入社。3次元CAD/CAMの開発、主に自動車メーカーの設計開発支援システムの研究開発に従事。2004年からは同社の新規事業部門、先端技術研究所で先端技術の業務適用、産学連携業務を担当。2004年から慶應義塾大学SFCの大学発ベンチャー創出、アントレプレナーシップ教育のコンソーシアムに参加、2007年日本ユニシスを退社、慶應の起業を支援するメンター三田会が株主の(株)MMインキュベーションパートナーズの代表取締役に就任。学生の起業支援活動に従事。2011年から2015立教大学ビジネスデザイン研究科非常勤教員としてMOTと統計の授業を担当、2013年から慶應義塾大学政策メディア研究科の特任教授としてアントレプレナー教育を担当している。2016年4月からメンター三田会会長代行に就任。

コーディネーター 余田 幸雄

1973年京都大学法学部卒業。通商産業省入省後1978年に研究開発型企業育成センター(VEC)に関わり、その後幾つかの技術関連部署に勤務。1997年6月JETROサンフランシスコ所長に就任。シリコンヴァレーにおけるJETROインキュベーターの創設や我が国の民間の機関との連携等若手進出の環境整備に関わる。2000年通産省を退職。2007年7月からタスク・ヨダとしてベンチャー企業支援活動を行う。

ワークショップ事務局責任者 大橋 克巳

1966年一橋大学法学部卒、1966年(株)クラレ(倉敷レーヨン)入社、67年より97年まで繊維事業本部に所属し国内繊維販売に従事、97年総務室長(本社)、98年メディカル事業本部長、99年取締役、2003年常務取締役、04年化学品カンパニー担当、東京事業所長、クラレメディカル(株)担当委嘱、05年業務改革推進チーム担当、購買・物流本部担当委嘱、07年顧問、09年クラレ社友、当学会監事。



<申し込み> 第6回技術ベンチャー叢成ワークショップ(7月22日)と明記の上、下記項目に記入の上、FAXまたはeメール(office@jpmot.org)でお申し込み下さい。

- 氏名： _____ ●所属： _____
- 住所： _____
- 電話番号：() _____ - _____ ●eメール： _____

お申込

FAX：(03)6276-2424
または office@jpmot.org

一般社団法人日本開発工学会事務局
〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-57-2
ドルミ代々木704号 一般財団法人アーネスト育成財団内
(03)6276-6260 FAX(03)6276-2424